

令和8年度 高速道路調査会 研究発表会（東京）プログラム

開催日：令和8年7月17日（金） 10:00～16:10

開催場所：星陵会館（東京都千代田区永田町2丁目16-2）

EHRF 公益財団法人 高速道路調査会
EXPRESS HIGHWAY RESEARCH FOUNDATION OF JAPAN

項目	時間 []内は 質疑応答	時間帯 []内は質疑応答
1. 調査研究事業報告		
公益財団法人高速道路調査会	0:15	10:00～10:15
2. 研究発表		
(1) 駒澤大学 法学部 准教授 高田 実宗 氏 有料道路制度および占用許可制度・立体道路制度の法的研究	0:30 [0:05]	10:15～10:40 [10:40～10:45]
<p>高速道路の維持管理費用や更新費用を安定的に確保しつつ、さらには高速道路の上下空間を有効活用するという観点から、有料道路制度および占用許可制度や立体道路制度を法的に分析する。とりわけ、阪神高速道路13号東大阪線を支える船場センタービルの占用料が問題となった訴訟（大阪高等裁判所令和3年12月14日判決・判例時報2545号27頁）を糸口に、高速道路に対する固定資産税の非課税・減免措置について考えたい。</p>		
【休憩】	0:05	10:45～10:50
(2) 東京都市大学 建築都市デザイン学部 都市工学科 教授 五艘 隆志 氏 機械学習を用いた舗装工事現場の労働環境・生産性データ収集分析システム構築に関する研究	0:30 [0:05]	10:50～11:15 [11:15～11:20]
<p>本研究は、国内外の製造業や建設業等では浸透しているが、国内ではほとんど浸透していない Work Sampling を自動化するシステムの構築・改良と、舗装工事現場における試験的な運用を行ったものである。作業員に装着する加速度センサーやスマートフォンに加えて GNSS ロガーも活用した。分析フローの改善と動作ラベリングの時間窓幅変更などによって、生産性動作区分の精度向上の結果を得ることが可能であることが確認された。</p>		
【休憩】	0:05	11:20～11:25
(3) 文教大学 国際学部国際観光学科 専任講師 青木 洋高 氏 サービスエリア・パーキングエリアにおける「ご当地グルメ」の提供による地域価値向上と物語経験に関する研究	0:30 [0:05]	11:25～11:50 [11:50～11:55]
<p>本研究は、高速道路のSA・PAにおいて提供されるご当地グルメが、旅行者の地域理解や地域価値認識に与える影響について検討したものである。3か所のSAにおける来訪者調査の結果、ご当地グルメは単なる消費対象ではなく、地域の食文化や背景にある物語へと旅行者を接続するメディアとして機能する可能性が示された。また、その効果を高めるためには、食材や地域との結びつきを伝える情報発信が重要であることが示唆された。</p>		
【昼休憩】	1:05	11:55～13:00
(4) 北海道大学大学院 工学研究院 土木工学部門 准教授 北原 優 氏 変分オートエンコーダと階層ベイズモデルによる既設免震橋のモデル更新	0:30 [0:05]	13:00～13:25 [13:25～13:30]
<p>本研究では、径間ごとの材料特性のばらつきと経年劣化を考慮した既設免震橋のモデル更新を行うため、変分オートエンコーダ(VAE)に基づく尤度フリー階層ベイズモデル更新フレームワークを提案する。有限要素モデルを用いて事前学習したVAEにより、対象橋梁の複数個所で観測した地震応答データから直接尤度評価を可能にする。また、階層事前分布により橋脚間の構造パラメータの類似性を考慮し、橋梁全体系を対象としたパラメータ推定精度の向上を図る。</p>		
【休憩】	0:05	13:30～13:35
(5) 京都大学 学術情報メディアセンター 計算科学研究分野 教授 菊本 統 氏 締固め度が根系発達およびせん断強度に及ぼす影響	0:30 [0:05]	13:35～14:00 [14:00～14:05]
<p>本研究では、道路法面における健全な植生育成と安定性向上を目指し、締固め度が根系発達に及ぼす影響と根系含有土のせん断強度特性を検討した。異なる締固め度が異なる土試料でシラカシ幼苗を育成し、生育期間ごとに根系分布と強度特性を分析した結果、高密度締固めは初期強度は高いが根系の深層伸長を阻害し、長期安定性に課題が残る一方、低密度では根系が深層まで発達し、太根による残留強度の増加を見込めることが分かった。</p>		
【休憩】	0:05	14:05～14:10
(6) 一関工業高等専門学校 未来創造工学科 電気・電子系 助教 川合 勇輔 氏 YOLOを活用した高速道路走行中の逆走車検知・警報システムの開発	0:30 [0:05]	14:10～14:35 [14:35～14:40]
<p>本研究では、YOLOを用いて高速道路の逆走車をリアルタイム検知・警告するシステムを開発した。データセット拡張により精度を向上させ、路上試験では適合率94.8%を達成し、実環境での実用性を実証した。</p>		

項目	時間 []内は 質疑応答	時間帯 []内は質疑応答
【休憩】	0:05	14:40～14:45
(7) 研究部発表 株式会社高速道路総合技術研究所 池田 隆成 委員長 「写真で見る保全業務」の改定に向けた委員会	0:20 [0:05]	14:45～15:00 [15:00～15:05]
【R6年度～R7年度の委員会最終成果報告】 既刊の『写真で見る保全業務』は、保全業務の経験の浅い方々や高速道路事業者以外の方々にも、保全業務を理解していただく機会によく利用されてきた。そのため、平成16年10月に記載内容について見直しを図り、保全業務の実態に合致した内容に改訂を行った。平成16年の改訂から既に20年が経過しており、より現状の保全業務に合致した内容に見直しを行い、高速道路関連技術の研修や高速道路の保全業務を紹介するための資料として活用されることを目的に改訂作業を行った。本発表は、本改訂委員会の最終報告である		
【休憩】	0:05	15:05～15:10
(8) 研究部発表 公益財団法人 高速道路調査会 特任研究主幹 西川了一 氏 欧米の高速道路政策(2026年版)	0:30 [0:05]	15:10～15:35 [15:35～15:40]
【2018年度～2026年度 成果報告】 当法人が2018年6月に発行した「欧米の高速道路政策 新版」等の研究成果をもとに、毎年、新たな調査項目を追加するとともに、2025年現在のデータに更新して簡潔にまとめたものです。 内容的には、米国、EU、英国、ドイツ、フランス、およびイタリア等の高速道路政策の概要とそこから導き出される5つの潮流(①道路の走行に対する課金の拡大、②交通需要管理としてのロードプライシング、③地球環境問題への対応、④官民パートナーシップ、⑤高速道路関係企業のグローバル展開)を整理し、日本への示唆をまとめています。		
【休憩】	0:05	15:40～15:45
(9) 海外関係 東日本高速道路(株) 技術本部海外事業部海外事業推進課 江口 英寿 氏 第67回 海外道路調査団(アメリカ)	0:20 [0:05]	15:45～16:00 [16:00～16:05]
本発表は、第67回海外道路調査団の調査報告である。当該調査では、アメリカ合衆国インディアナ州・テキサス州の高速道路等におけるITS技術、維持管理、走行中給電他等に関する取り組みを調査するため、インディアナ州交通局(INDOT)及び州立総合大学であるパデュー大学、テキサス州交通局(TxDOT)を訪問し、現地調査や意見交換を行った。		
3. 閉会挨拶	0:05	16:05～16:10
公益財団法人高速道路調査会		



- CPD/CPDS の「受講証明書」を配布します【リアル開催限定】
- 会場受付にて、希望者にものみ配布
土木学会認定 CPD 認定プログラム(4.5単位)/
全国土木施工管理技士会連合会 CPDS 認定プログラム(101-1 2ユニット 101-2 2ユニット)
- TOP/TOE-CPD 認定プログラム(受講証明書配布無し、各自申請)
一般社団法人交通工学研究会認定プログラム、項目 CO1.(1)として各自 CPD 単位数を申請できます。
- (一社)建設コンサルタンツ協会JCCA-CPD (JCCA)認定プログラム(4.0～5.0単位予定)

＜オンデマンド配信のご案内＞※CPD 認定プログラムの対象外です。

【配信期間】 令和8年7月27日～8月28日(予定)

- ・本講演会の内容について、アーカイブ動画配信を行います。
- ・配信期間初日に、メールにてオンデマンド配信についてご案内します。